

連携医院のご紹介



蓼原 太 院長

たではらクリニック

〒734-0004
広島県広島市南区宇品神田
1-2-16-3F(ペガサスメディカル宇品)
電話 / 082-250-5220
院長 / 蓼原 太(たではら ふとし)
診療科目 / 循環器内科、内科



○いつ開業されましたか。

広島大学病院、マツダ病院、吳共済病院などの勤務医を経て2017年12月に開業しました。広島で生まれ育ち、特に宇品は広大附属中・高校で学生生活を過ごしたことで馴染みがあり、親近感もあるためすぐにこの地を選びました。

○開業されてから今までの事を教えてください。

基幹病院での診療経験を活かし地域のかかりつけ医として、内科だけでなくさまざまな疾患の相談も受けながら診療しています。

当院では、急性冠症候群（急性心筋梗塞や不安定狭心症）などの緊急治療が必要かどうかを、問診はもちろん心電図、心エコー検査、院内で迅速に測定できる血液検査（心筋トロポニン、NT-proBNP、生化学検査、血液一般等）を駆使して診断しています。基幹病院への救急受診について循環器専門医としてのゲートキーパー的役割を担いたいと思っています。また来年には通院心臓リハビリテーションができる体制を整える予定です。慢性心不全の診療では体成分分析や栄養状態が測定できるインボディーを使って負担の少ない体液量の評価を参考にしながら適切な診療を目指しています。



生活指導、運動療法や食事療法についてのアドバイスは、医師からだけではなく、スタッフみんなで行えるよう取り組んでいます。

○毎日の診療で大切にされている事は何ですか？

電子カルテの入力支援をスタッフにお願いして患者さんの顔をみながらの診察を心掛け、丁寧な身体診察を大切にしています。

○県病院はどんなところですか？

いつも救急疾患や診断に苦慮する患者さん、手術やカテーテル治療が必要と判断した患者さんを紹介させていただいている。KBネットでは紹介した患者さんの診療内容がリアルタイムによく分かり、とても勉強になっています。過去に県病院で治療を受けたといわれる患者さんの診療履歴の検索が難しいケースもあるので、改善していただければ助かります。



【取材後記】
県病院には近いということもあり、開業から連携をさせていただいており感謝しております。貴重なご意見に対して努力し、地域の皆様に貢献できる、よりよい病院を目指していく所存です。今後ともよろしくお願ひいたします。

県立広島病院からのお知らせ

12月のがんサロン

- 開催日 令和元年 12月19日(木)
- 時 間 14:00~15:30
- 場 所 新東棟2階 総合研修室
- テーマ かかりつけ医と在宅医療『地域で安心して過ごすために』
- 講 師 こころ・やの ファミリークリニック 矢野 健太郎 先生
- 対 象 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族
当院での受診歴は問いません
- 問合せ先 がん相談支援センター
☎ 082-256-3561
(担当/橋本)

クリスマスコンサート

12月25日(水) 14:00~
中央棟1階 中央玄関ホール
どなたでも自由にご観覧いただけます。

年末年始 休診のお知らせ

年末年始の外来診療につきまして、次の通りとさせて頂きます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

2019 12月					2020 1月				
27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	1 祝	2 木	3 金	4 土	5 日
平常通り	休	診					平常通り		

もみじ



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
[県立広島病院]で検索(URL: http://www.hph.pref.hiroshima.jp/)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

整形外科



痛みがなくても
早めに受診を！

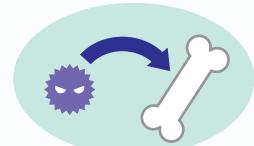
骨軟部腫瘍



整形外科部長
松尾 俊宏

◆骨軟部腫瘍(こつなんぶしゅよう)について

骨軟部腫瘍とは骨や筋肉、脂肪、神経などの軟部組織にできる腫瘍のことで、足の先から頭までからだのあらゆる部位に発生します。乳児から高齢者まで幅広い年齢層にできます。骨腫瘍は約50種類、軟部腫瘍は約120種類と種類が多いのが特徴です。悪性(肉腫といいます)はがん全体の1%未満に過ぎない希少がんで、年間で人口10万人あたり3人程度しか発症しないとされています。良性は比較的多く、年間で10万人あたり300人以上発症するとされています。骨軟部腫瘍は、良性でも放置しておくとどんどん進行していくものもあり、悪性でも比較的おとなしい性質のものや悪性度の高いものまでさまざまです。また内臓などにできたがんが骨に転移する転移性骨腫瘍は国内で年間20万人以上の患者さんが罹患するとされています。



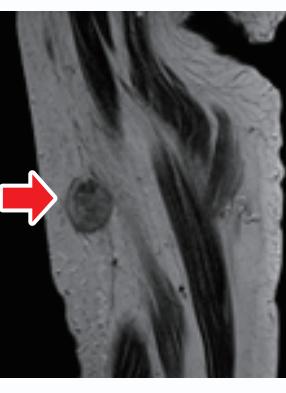
がんが骨に転移

◆骨軟部腫瘍の症状

骨腫瘍は病的骨折(病気が進行し骨が折れてしまうこと)などによる痛みで気づくことが多いですが、症状がなくても検診などで偶然みつかることもあります。軟部腫瘍は痛みのないしこりとして気づくことが多く、進行して大きくなつてから受診されることがあります。ほとんどの悪性腫瘍は痛みがなく、また小さい腫瘍でも悪性のことがあるため、放置せずに早目に病院を受診されることをお勧めします。



痛みのないものや、骨折で気づくこともあります



ふとももにできた2cm大の悪性腫瘍のMRI画像

専門的な検査が必要です

◆骨軟部腫瘍の診断

レントゲンやCT、MRIなどの画像診断を行います。確定診断には組織の病理検査が必要です。病気のある部位や状態により組織を採取する方法を決めます。骨軟部腫瘍は一部の病気を除いて基本的に血液検査(腫瘍マーカー)では診断できません。それぞれの骨軟部腫瘍によって性質が異なるため、病気に対応した専門的な検査が必要になることもあります。

◆手術治療について

肉腫の治療は腫瘍切除が基本となります。再発、転移のリスクを減らす目的で放射線治療、化学療法を単独もしくは併用することもあります。手術は広範切除を行いますが、腫瘍が血管や神経に接している場合は、血管・神経を温存し補助療法（放射線治療など）を追加することがあります。また適応により液体窒素を利用した骨温存手術を行うこともあります。切除後の再建方法はさまざまですが骨では人工関節や腓骨などを利用した生物学的再建、軟部では遊離皮弁や局所皮弁が中心となります。



◆化学療法・分子標的薬など

診療ガイドラインに沿い、転移のない患者さんに対しても組織型や病態により化学療法を行うことがあります。転移例での主な治療は、化学療法や分子標的薬になります。患者さんの臨床状態と組織亜型に合わせた薬剤選択が行われます。軟部肉腫に対してはイホスファミドとドキソルビシンがキードラッグとして長い間使用されてきましたが、2012年以降パゾバニブ、エリブリン、トラベクテジンなどの新規薬剤が肉腫の適応になりました。癌腫骨転移で使われているデノスマブ（RANKL阻害剤）は骨巨細胞腫に適応となり、大きなブレークスルーとなりました。また免疫チェックポイント阻害剤であるペムブロリズマブも肉腫の適応となっています。以前は入院で行う多剤併用大量化学療法が原則でしたが、外来通院で処方可能な薬剤も増えてきています。

◆腫瘍切除を行う時の注意事項

手術時の切開方向や麻酔方法、局所麻酔量など切除時に気をつけないといけないことが多くあり、注意を要します。また切除前にエコーやCTのみでは正確な腫瘍の性状や広がりがわかりにくく、MRIによる画像評価が必要です。MRIを撮影せずに切除し、病理診断が悪性であった場合、unplanned excisionとよばれています。腫瘍が残存しており、局所再発・転移を生じやすくなるため追加の治療が必要になります。



うえぽんの脳心臓血管カンファレンス

ヘパリンとアレルギー

症例は81歳女性、呂律困難と両上肢脱力を主訴にて来院。緊急MRI検査にて左中大脳動脈に新鮮梗塞巣を認めたため、脳梗塞と診断しました。発症後8時間以上経過していたためt-PAによる血栓溶解療法は施行せず、またDダイマー44.2 $\mu\text{g/mL}$ と上昇していたため、血栓塞栓機序による発症と考え、ヘパリンの持続投与を開始しました。投与後、全身にそう痒感を伴う地図様膨疹が出現、SpO₂90%まで低下、上気道狭窄による呼吸困難・陥没様呼吸となったため、ヘパリンによるアナフィラキシーと診断。アドレナリン0.3mg筋注とメチルプレドニゾロン125mg点滴にて症状改善しました。

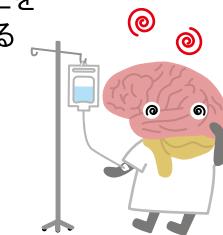
ヘパリンは硫酸多糖類で肥満細胞に富む哺乳類から分離される薬剤で、その作用はアンチトロンビンを活性化し、トロンビンや活性化第X因子を阻害する速度を上げることで抗凝固作用を発揮する薬剤です。抗凝固薬として透析、開心術、血

脳神経内科／田金 裕一郎

管の手術やカテーテル治療など日常診療にて頻繁に使用する薬剤ですが、豚腸粘膜や牛肺胞より抽出した生物学的製剤であるため、抗原性が高く、まれではありますが本症例のように即時型アレルギーを生じる可能性があります。

また、ヘパリン投与にはアナフィラキシー以外にヘパリン起因性血小板減少症（HIT:heparin-induced thrombocytopenia）を発症することがあります。抗凝固作用を期待して投与されたヘパリンが血小板第4因子と複合体を形成し、この複合体に対する自己抗体が、血小板・单球・内皮細胞を活性化することでトロンビンの過剰産生を引き起こし、血栓塞栓症が生じることがあります。

以上、ヘパリンは日常臨床で頻繁に使用されますが、このような機序がまれにあることも知っておく必要がある薬剤です。



大ト氣の
しまじろう

しまじろうが入院中の子供達を訪問しました！



10月18日（金）、ソニー生命とこどもちゃんじが共催する「しまじろうと一緒に笑おう！<キャラバン>」の一環として、しまじろうが当院の東7、東4、西4病棟を訪問してくれました。子ども達は大好きなしまじろうに会えて驚きながらも、抱きついたり、記念撮影したり、輝かしい笑顔を見せっていました。



外科医の独り言... no.98

人生100年

日本人の平均寿命が、男性で81.25歳、女性で87.72歳と過去最高を更新したそうです。がん、心疾患や脳血管疾患の死亡率が低下したことが要因だそうです。男性は世界3位、女性は世界2位ということで、人生100年に向かってまっしぐらです。これは、日本人にとって誇らしいことですが、医療を含む社会福祉制度が、寿命延長の速さに追いついていないために、ご承知のように色々な問題が持ちあがっています。1980年代の平均寿命は、男性73歳、女性79歳でしたが、あっという間に7~8年も寿命が伸びました。一方で、健康上に問題がなく、制限なく日常生活をおくることができる健康寿命は、2016年では男性72.14歳、女性74.79歳で、平均寿命との間に男性で9年、女性で13年の開きがあります。すなわちこの期間は、健康上有色々と問題を抱えて介護が必要な状態で生活することになり、場合によっては寝たきりかもしれません。このように多くの人が長寿いの後に亡くなります。ピンピントロリ、さっきまで元気だったのにポツクリ死くなられるのは、わずか20人に1人だそうです。

さて、女性の多くは、70歳くらいから徐々に日常生活の動作に援助が必要となり、動作の制約が少しずつ増えていくそうです。一方、男性は女性に比べて平均寿命は短いのですが、90歳を過ぎても非常にお元気で、完全に自立されている方が1割おられるそうです。いわゆる「スーパー老人」です。政治家では中曾根康弘さんもこのお一人かもしれません。私の外来に来られる患者さんの中にも、100歳に手が届きそうで、とてもお元気な「スーパー老人」がおられます。病院に来なくて良いくらいお元気です。太平洋戦争時代にはゼロ戦に乗っておられ、「こんなに長生きできるとは思っていなかった」というのが口癖です。そして、自分で車を運転して戦友の墓参りをしていたそうです。ここで

「していた」と過去形になったのは、つい最近、免許を返納されたそうです。移動手段の車がなくなってしまったので、便利さと楽しみを両方失ったと言わっていました。「老い」が進まないようにと祈っています。といえば私の叔父も90歳を過ぎても松茸栽培の研究意欲に衰えが見えず、孫やひ孫に囲まれて自立した生活を送っています。「スーパー老人」の一人だと思いますが、やはり車の運転はもうしていないと思います。

さて、「老い」の進行を抑えることができるでしょうか？『何か生きがいや楽しみを見つけよう』、『人と話をしないのがいけない』、『おしゃべりが良い』などと一般的には言われています。昔は近所との付き合いが頻繁にあり、しっかりしたコミュニティがありました。確かに独居で話し相手もいなければ、気分も沈んでしまいます。うつや認知症を発症するかもしれません。外出も控えがちになると足の筋力も落ちて、「フレイル（虚弱）」になって転倒、骨折ということにもなりかねません。寝たきりとなる原因の一つは骨折です。

加齢による全身性の筋量減少と筋力低下があり、身体機能障害や生活の質の低下を伴う場合をサルコペニアといいます。サルコペニアは、フレイルの原因となり、両者には密接な関係があります。ふくらはぎの一番太いところを両手で楽々掴めて隙間ができるようなら筋量の低下があると考えてもよさそうです。とにかくしっかり食べて運動です。きつい運動は必要ありません。じんわり効いてくる低強度の運動を繰り返すと「老い」の最中でも筋量が増えてくるそうです。



今、ふくらはぎを両手でつかんで危機感を憶えました。今日からまた病院の階段がトレーニング場になります。

副院長（消化器センター長・緩和ケア主任部長）板本 敏行